

令和5年度第3回八代市社会教育委員会議 会議録

令和6年3月18日（月）午後2時00分～午後3時00分

会場：八代市公民館 研修室

出席委員 生田委員、三栗野委員、徳田委員、林委員、松本（卓）委員、高倉委員
薄田委員、岩本委員、押方委員

欠席委員 松本（啓）委員、山本委員、寺尾委員

事務局 高崎課長、米村社会教育係長、平田管理係長、西村生涯学習推進係長、宮地参事、満永参事、田島参事、小林主事、木本社会教育指導員、塩田社会教育指導員

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議事

(1) 令和5年度生涯学習課の主な事業について（報告）

事務局より説明。

【質疑応答・意見】（抜粋）

（委員）まなびフェスタに参加させていただいて、素晴らしいという意見がたくさんでした。最近にない講話を聞かせていただいて、竹村さんよかったね、こんなによかったら他の人も連れてくればよかったね、という意見がでて、皆さんが喜んで学びをさせていただいた。

（委員）アウトドアスクールの高校生ボランティアと二十歳の集い実行委員会のメンバーはどのように募集したのか。

（事務局）アウトドアスクールの高校生ボランティアは7名参加いただいた。市報やホームページで募集をかけたが集まらなかったため、某高校へ担当が出向き、直接依頼をした。当日の子供たちの見守りや、やさしい日本語のレクチャーをしていただいた。3日間1班に1人ついていただいた。

二十歳の集い実行委員も公募はしたが集まらなかったため、企業や団体に出向いて依頼をした。全部で7名に実行委員として委嘱させていただき、それぞれ仕事や学校で忙しい中、夜に集まって会議を行った。当日は受付や来賓対応も行っていた。

(2) 令和6年度生涯学習課の主な事業計画(案)について

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

(委員) やつしろ市民大学の参加具合はどんなか。

(事務局) 令和5年度の参加者数については13ページに掲載している。定員以上の応募もあれば、定員に満たずに中止にした講座もある。年齢層としては、日中の講座は50代～70代、夜の講座は働いている世代の参加もある。

(委員) 工夫されていることは。

(事務局) 市報には必ず載せている。1講座ずつチラシを作成して市役所や図書館など公共施設に設置している。また、ホームページでの周知はもちろん、ホームページから応募できるようにしている。市の公式SNSに週末投稿をして、募集が満たないものは追加で募集をしている。

(3) 令和5年度地域学校協働活動について(報告)

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

(委員) 地域学校協働活動にはお世話になっているが、アンケート結果は残念な結果となっている。教職員と地域コーディネーターのコミュニケーションが不足している。具体的な内容であれば職員からは、どこの学校でも事務職員や担当職員の負担が大きくなる。コーディネーターの方からすると、先生たちが変わられて、前にあった事業がなくなるなど。地域学校協働活動は、地域の子供は地域全体で育てるという理念がある。学校が助けを求めているところをサポートしていただきたい。

(委員) 資料にはないが、先日スリーデーマーチのときに某小学校に420名のお客様が来られるということで、全校生徒に3枚ずつ絵を描いてもらい、ジップロックに絵を貼り付けて、トマトを入れて差し上げた。大変喜んでいただいた。

(委員) 学生のボランティアを考えているとのことだが、具体的には人材についてどのように手を付けているのか。

(事務局) とある市が学生を登用した学習支援を行っているというホームページを見て、某中学校の校長先生から学生と学習支援に取り組みたいという相談があった。某小学校の先生からは来年から自分で動いて大学などに顔を出し、生徒を出してくれないかという願いをしたい、という相談を受けている。私たちの意見としては、将来先生になりたい方に教育の現場に携わっていただき、学生の成長の場としたい。歳も近いので、子どもたちも相談しやすい。広報活動については、ホームページや広報誌などで行っていきこうという段階。

(4) 令和6年度地域学校協働活動計画について（報告）

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

無し

(5) 熊本県社会教育委員連絡協議会第2回理事会について（報告）

事務局より説明。

【質疑応答・意見】

無し

4. 閉会